



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

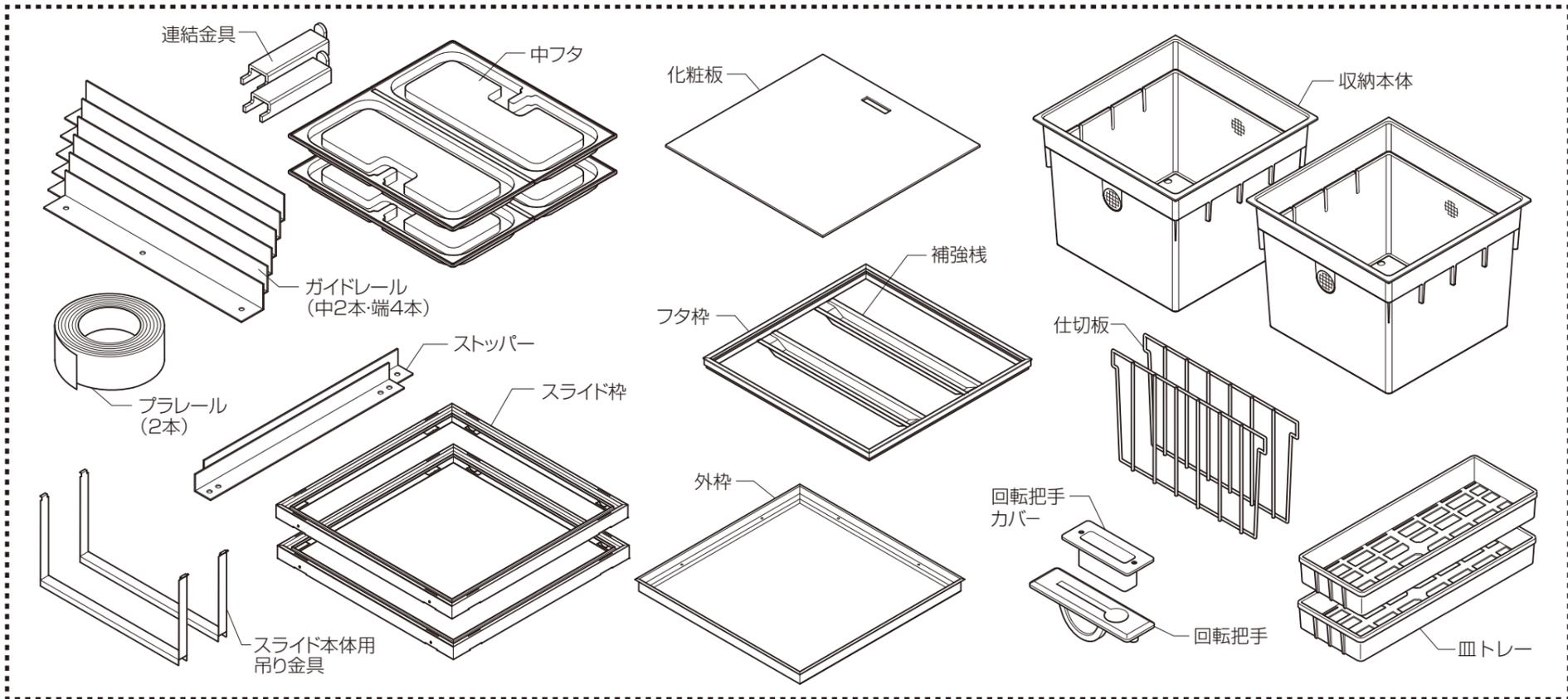
▲注意

- ガス・水道管を破損しないように注意して取付けてください。ガス漏れ・水漏れの原因になります。
- 外枠は、床面から浮き上がらないように取付けてください。つまづいてケガをするおそれがあります。
- 補強枠はフタ板の床材のつなぎ目に直角に取付けてください。フタ板の強度が不足し、ケガをするおそれがあります。

■取付け上のお願

- ガイドレールとストッパーの水平・平行・直角を確認してください。正しく出ていないと、収納部の動きが悪くなり、製品の破損の原因になります。
- 取付け前にガス・水道・電気配線などの障害物がないことを確認してください。
- 梁・根太が指定の位置にあることを確認してください。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定のねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下り・ゆがみなどの原因になります。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、枠が変形したり、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 運搬・加工の際は、傷つけないように取扱ってください。また、水・直射日光の当たる場所に置かないでください。製品劣化の原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)

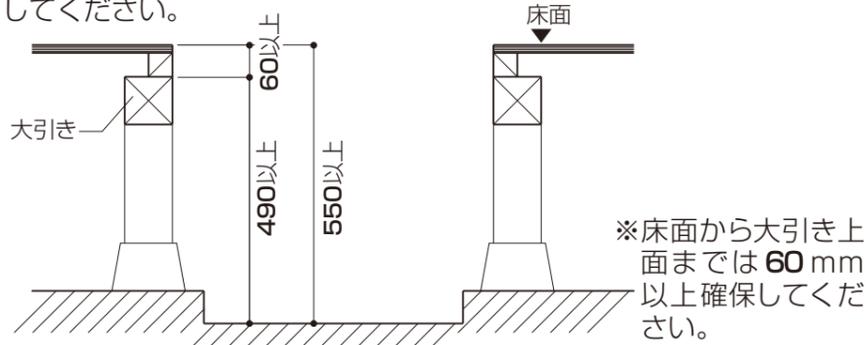
■部材・部品一覧表



ねじセット明細		スライドタイプ
ガイドレール取付けねじ 皿木ねじφ3.8×20		18
ストッパー取付けねじ なべ小ねじM4×12(ワッシャー・ナット付き)		8
外枠用ねじセット	皿タッピンねじφ4×30	8
フタ枠用ねじセット	フタ枠組立てねじ 皿小ねじM3×4	2
	フタ板固定ねじ なべタッピンねじφ4×12	12
補強枠用ねじセット	なべタッピンねじφ4×12	16
回転把手用ねじセット	皿小ねじM4×16	2

■取付け前の準備

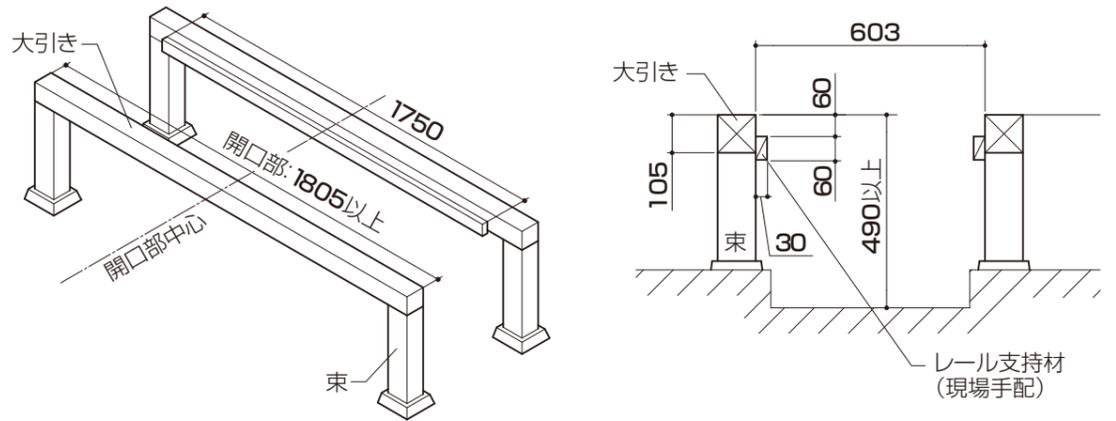
●床からの寸法(下図)および、取付け場所に障害物がないことを確認してください。



■開口部の作り方

1 大引きとレール支持材の設置

- ①大引きを開口部中心に合わせて設置します。
※大引きは 90 角～ 120 角で長さ 2000mm のソリや曲がりのない部材を使用してください。
※大引き上面までは 490 mm 以上確保してください。
- ②大引きにレール支持材 30 mm × 60 mm × 1750 mm（現場手配）を開口部中心に合わせて水平に取付けます。
※支持材はソリや曲がりのない部材を使用してください。

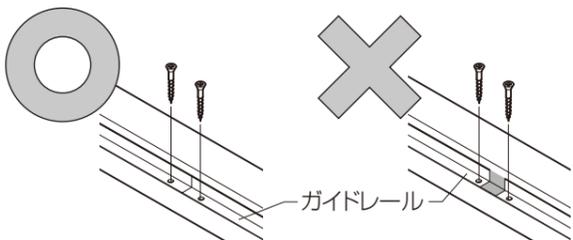


2 ガイドレールの取付け

- ①ガイドレール(端)とストッパーを同梱のねじで固定します。(4カ所)
- ②ガイドレールを開口部中心合わせでレール支持材に取付けます。

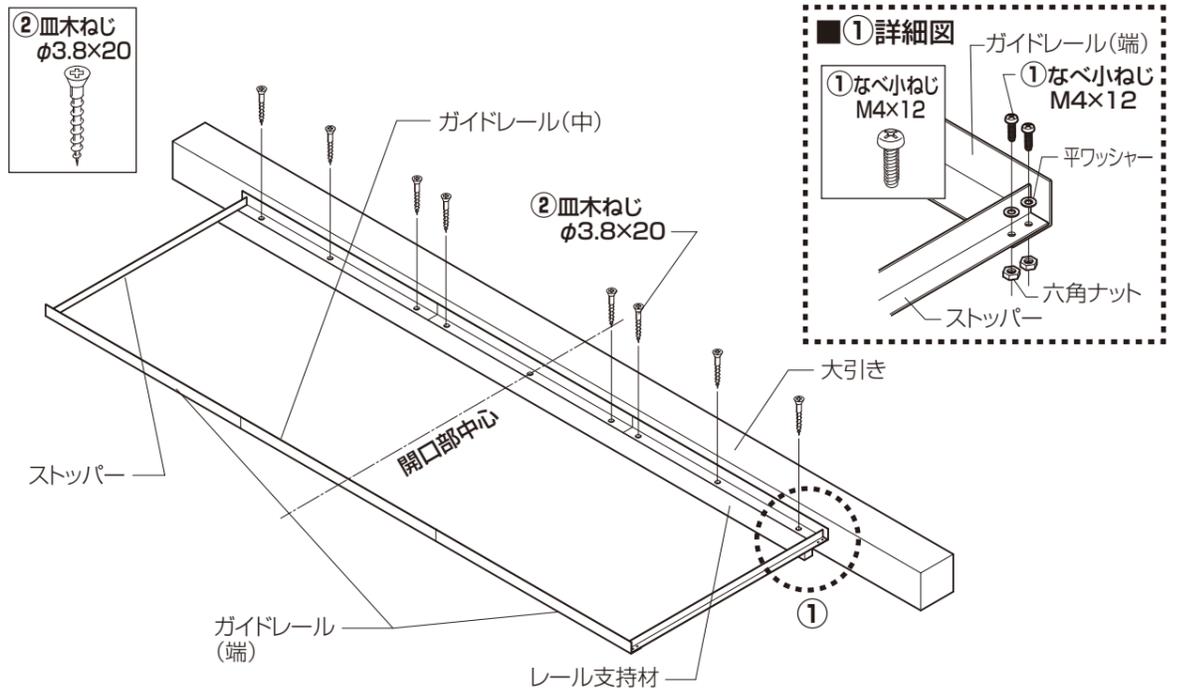
お願い

※ガイドレール同士にすき間のないように取付けてください。



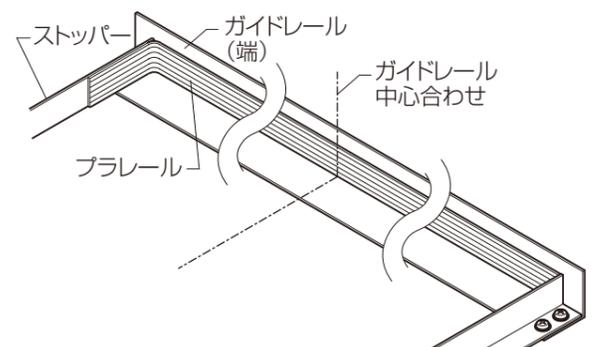
お願い

※ガイドレールとストッパーの水平・平行・直角を確認してください。正しく出ていないと、収納部の動きが悪くなり、破損の原因になります。



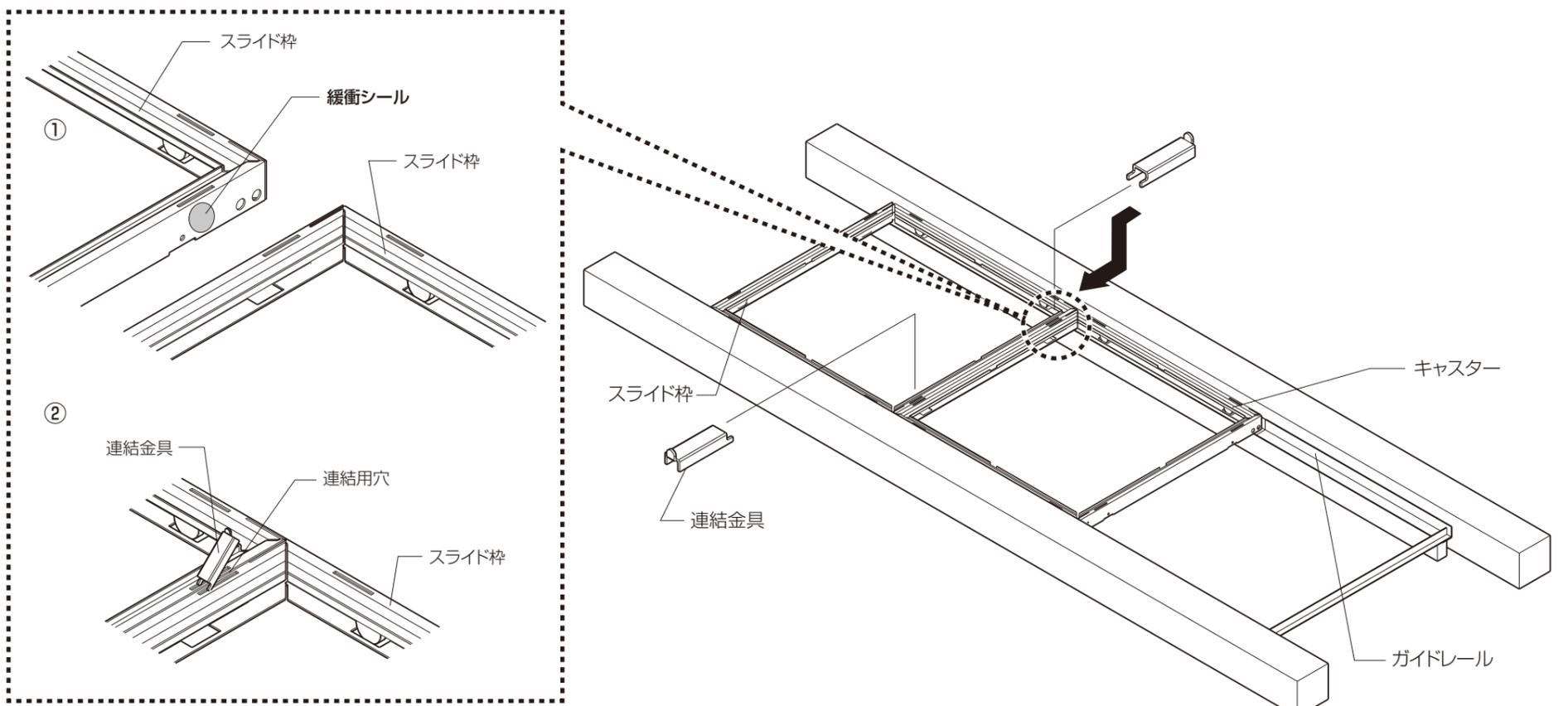
3 プラレールの取付け

- プラレール裏面のリケイ紙をはがし、プラレールをガイドレール側面に下端合わせで取付けます。
- ※ガイドレールの中心合わせで取付け、余った部分はストッパー側へ巻き込んでください。



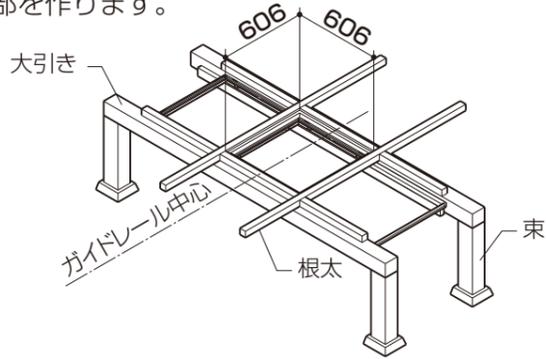
4 スライド枠の設置

- ①スライド枠をガイドレールに設置します。
※緩衝シールの貼ってある面を向き合わせて設置してください。
- ②連結金具をスライド枠の連結用穴に挿入します。



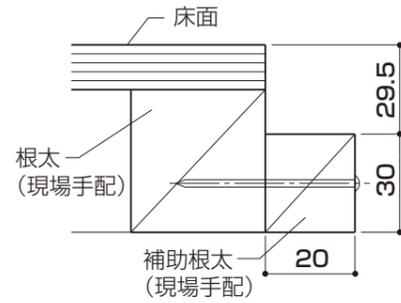
5 床組み

- ガイドレール中心に合わせて、606mm × 606mm の寸法で根太をまわして開口部を作ります。



6 補助根太の取付け

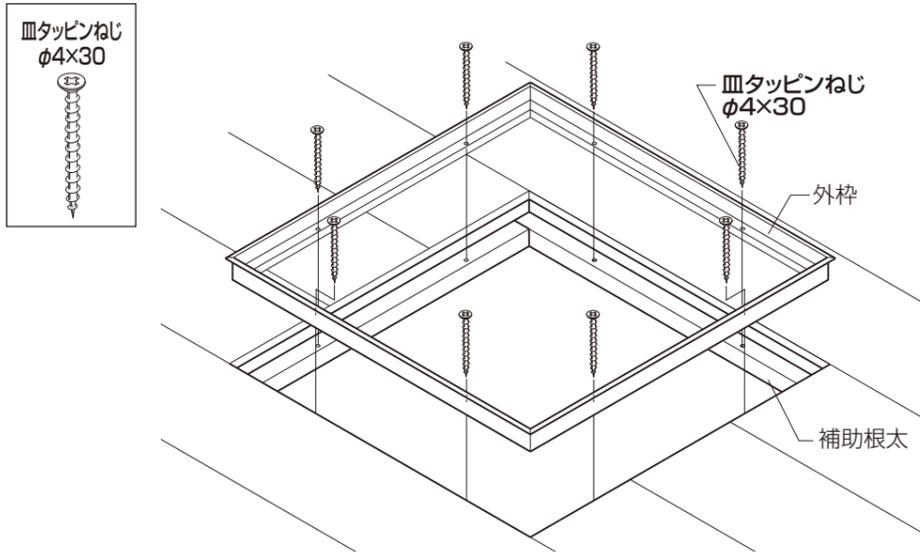
- 床面を仕上げ、補助根太（現場手配）を指定の位置に取付けます。



取付け順序

1 外枠の設置

- 外枠を開口部にはめ込み補助根太にねじ止めします。

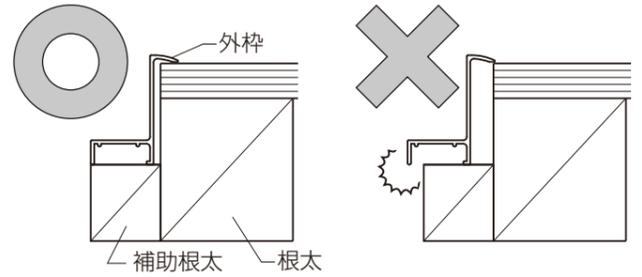


注意

- 外枠は、床面から浮き上がらないように取付けてください。つまづいてケガをするおそれがあります。

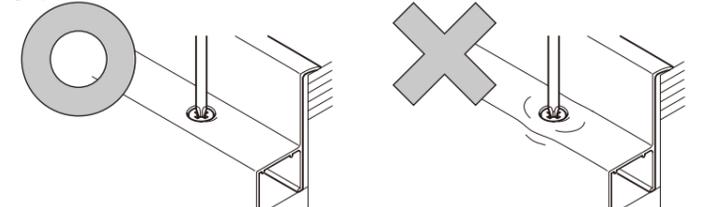
お願い

- ※外枠が補助根太から出ないようにして取付けてください。



お願い

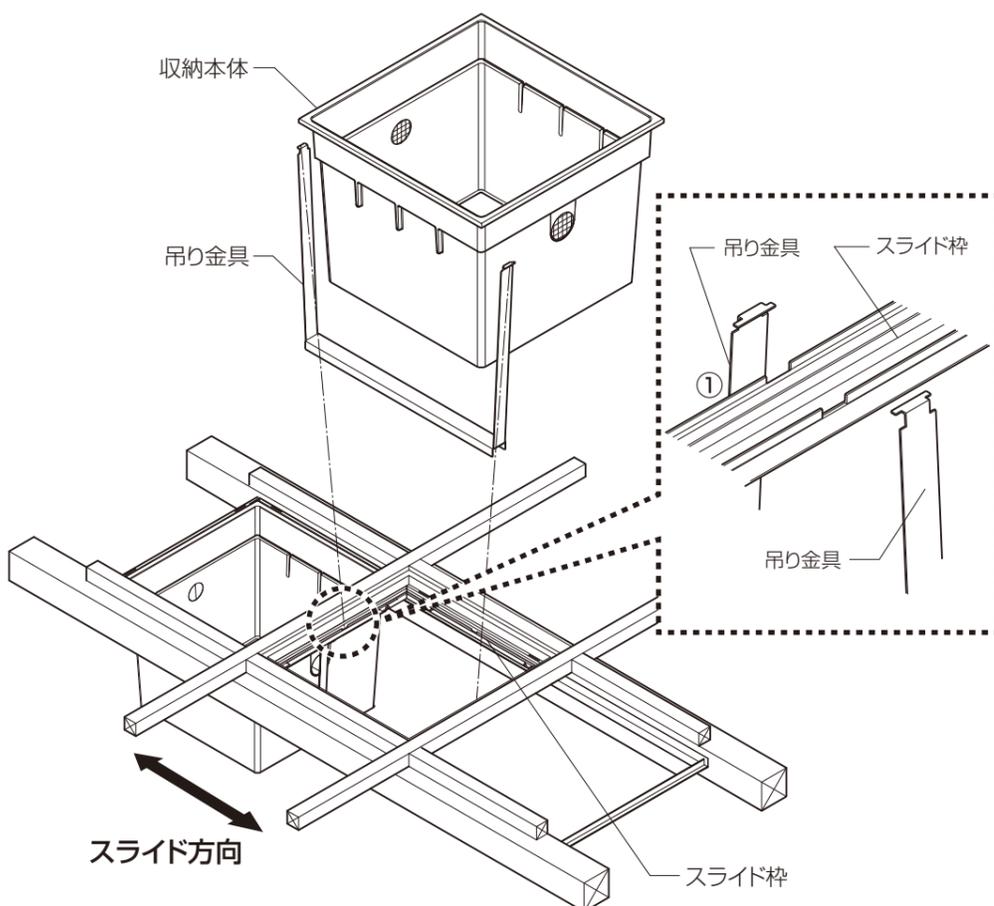
- ※クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、枠が変形したり、ねじが空転したりする場合があります。



- ※外枠にガタツキや浮きがある場合は補助根太の取付けが正しいか確認してください。

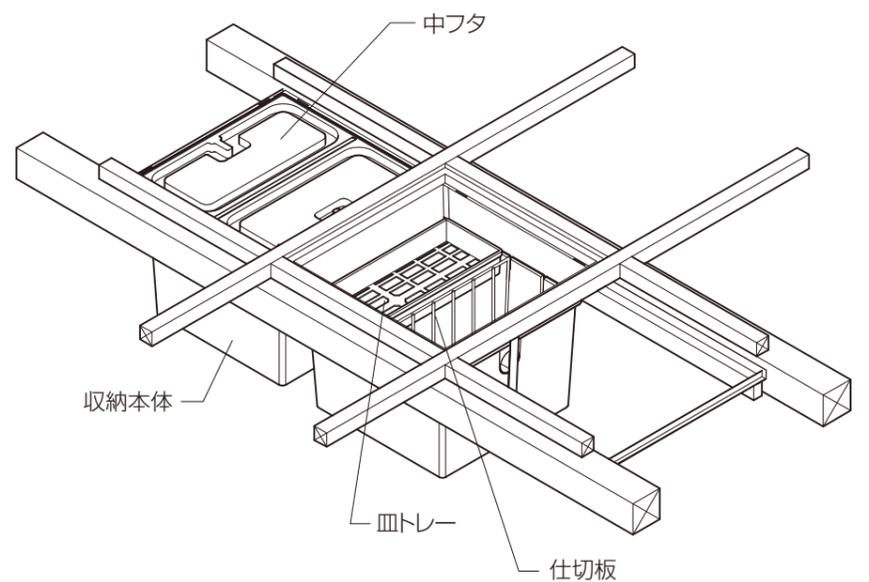
2 収納本体の設置

- ①スライド本体用吊り金具をスライド方向と平行にスライド枠中央の切欠き部分に引っ掛けます。
- ②収納本体をスライド枠に乗せます。



3 皿トレイ、仕切板、中フタの設置

- 皿トレイ、仕切板、中フタを収納本体にセットします。



4 フタの組立て

①床材を加工して、フタ板を作成します。

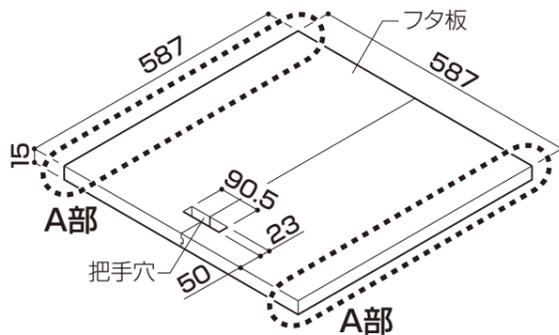
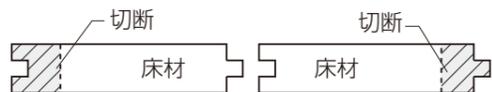
※床材の切断及び把手穴の加工には、同梱の化粧板をガイドとしてご使用ください。

※フタ板厚は15mm必要です。12mm厚の床材使用の場合は、同梱の化粧板に接着剤(現場手配)を全面塗布して張付けてください。(15mm厚の場合は不要です。) 推奨接着剤: コニシ KU928C-X

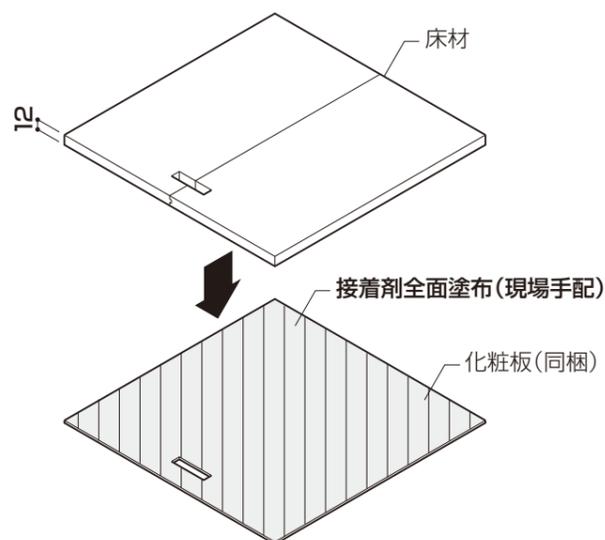
※直張り防音床など裏面にクッション材のついた床材はご使用できません。

■A部詳細図

※両端のサネ部は、必ず切断してください。
フタ枠固定不良の原因になります。

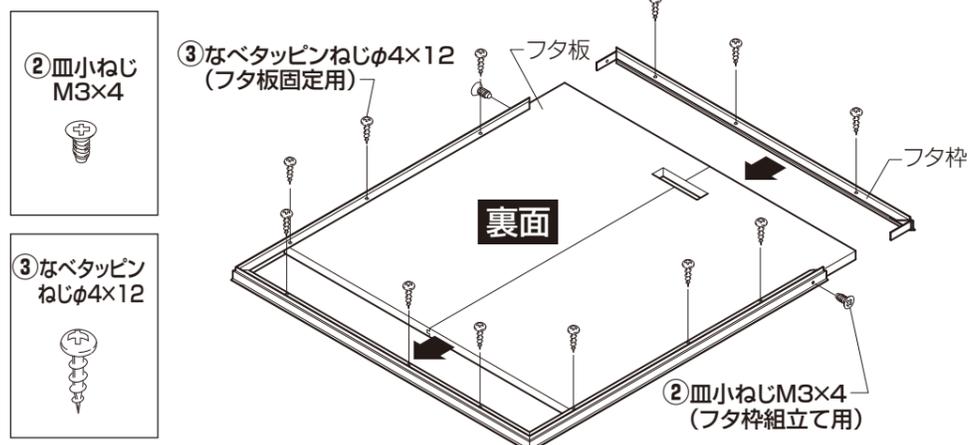


【12mm厚の床材の場合】



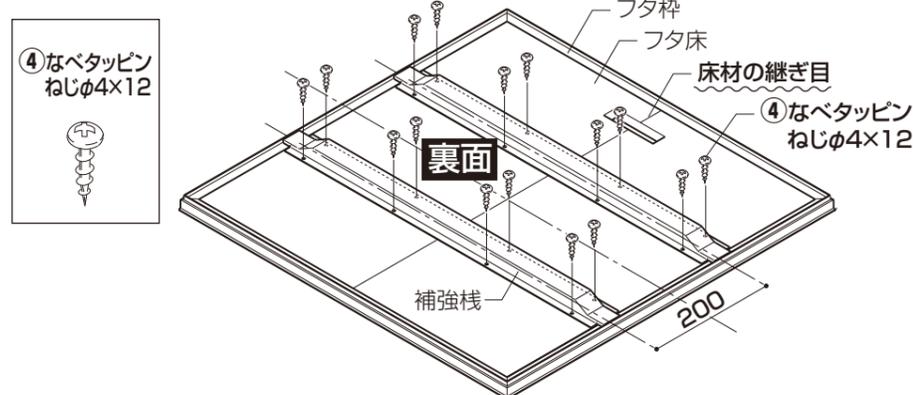
②フタ板をフタ枠に差込んで皿小ねじ(M3×4)で組立てます。

③フタ板を裏面からねじ止めます。

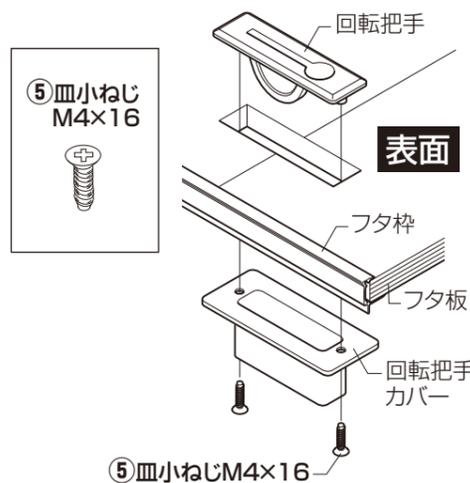


④フタ裏面中央部に、補強棧を床材の継ぎ目に直交させて取付けます。

●補強棧は2本取付けてください。



⑤把手を取付けます。



お願い
※ねじを締めすぎないようにしてください。
回転把手カバーが破損する原因になります。

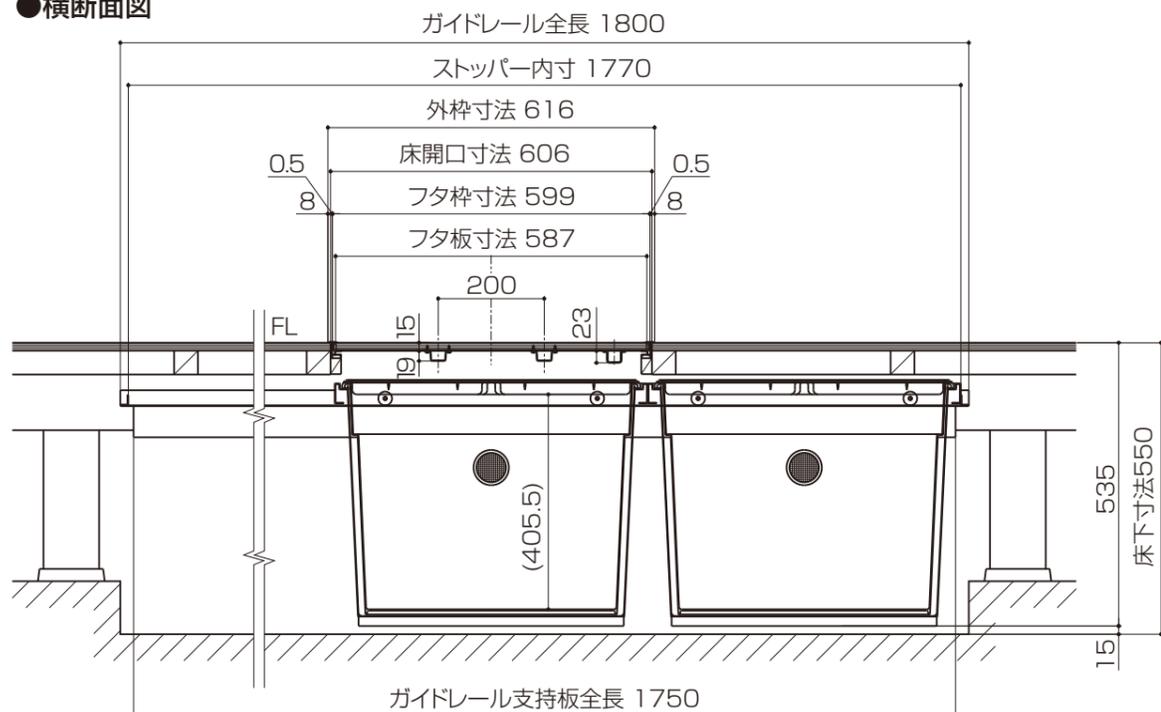
▲ 注意

●補強棧はフタ板の床材のつなぎ目に直角に取付けてください。
フタ板の強度が不足し、ケガをするおそれがあります。

■納まり図

■スライドタイプ

●横断面図



●縦断面図

